

平成
30年度

しまね建築・住宅 コンクール

Architecture & Houses Competition in Shimane



島 根 県

生活環境の変化に順応する、
わが街・わが家の工夫
—くらしを取り巻く課題への対応—



ごあいさつ



島根県知事

溝口 善兵衛

近年、島根県においては、少子高齢化への対策、地域コミュニティの維持、地震など自然災害への対応、環境に優しいまちづくりなど様々な課題があります。こうした中、住宅や建築物にも、バリアフリー化や空き家の活用、耐震化や省エネ性能の向上などが求められています。

県では、平成19年度から「しまね建築・住宅コンクール」を実施して、県民や事業者の皆様から、このような課題に配慮した住宅や建築物の整備あるいは活動の事例を募集し、優れたものをモデル事例として広く紹介しています。

今年度は、建築物部門72件、活動部門7件の合計79件の応募をいただきました。ご応募いただいた皆様に、厚くお礼を申し上げます。

ご応募いただきましたものにつきまして、審査委員会において、現地審査を含めて慎重な審議を重ね、最優秀賞の「大橋川河畔の家」をはじめ、建築物10件、活動3件の合計13件を表彰することとなりました。

受賞されました皆様には、心からお祝いを申し上げます。また、審査を行っていただきました審査委員の皆様にも厚くお礼を申し上げます。

今回の表彰が、県民の皆様の豊かな住まいや建物づくり、魅力ある地域づくりの参考となれば幸いです。

県では、今後とも、安全・安心で豊かな住生活の実現に向けた取組を進めて参りますので、県民の皆様の一層のご理解とご協力をお願い申し上げ、ご挨拶と致します。

平成31年2月

選考総評

審査委員長

細田 智久

平成30年度のしまね建築・住宅コンクールでは、「生活環境の変化に順応する、わが街・わが家の工夫 ーくらしを取り巻く課題への対応ー」と題し、建築物部門と活動部門の2部門において、それぞれテーマに即した建築作品と取り組みについて募集を行いました。

今年度の応募件数は79件（建築物部門72件、活動部門7件）で、最近4年間では最も多い応募件数となり、2部門ともにくらしを取り巻く課題に対して工夫を凝らした質の高い多くの建築物や活動がありました。

第一次審査では応募書類や写真等をもとに建築物部門20件、活動部門7件を選出し、第二次審査において現場視察や補足資料の精査を行い、表彰候補13件（建築物部門10件、活動部門3件）を選定しました。その中から審査委員で議論を重ね、最優秀賞1件、優秀賞3件、奨励賞9件を決定しました。最優秀賞と優秀賞を合わせた4件の建築物は、いずれも優れた建築デザイン性だけでなく、その建築物の成り立ちや背景において、利用する人々のくらしや生業の中で抱える課題に対して彩り豊かな物語性を持って工夫と計画がされており、こうした点が高く評価されました。

最優秀賞には、「大橋川河畔の家」を選定しました。この2階建木造住宅は松江市内にあり、昭和初期の建物を建て替える形で建築されています。建築主の方は以前の建物で生まれ育ち、現在は関西地方に居住されていますが、この住宅を親族と共有し、週末や休暇の際に利用されています。中心市街地において空き家が増加する中で、こうした豊かなくらしに向けた第二の拠点として故郷の実家を再生・維持する新たなモデルになることが期待されます。外観は城下町松江の歴史的景観に配慮され、漆喰、厚みのある焼き杉板、瓦屋根などの伝統的な自然素材が使用されています。町家の細長い敷地に対して、玄関前、ポーチ奥、キッチン横の3カ所に坪庭を設け、室内に十分な採光と樹木の彩りを取り入れるだけでなく、前面道路を行き交う人々もこれらから緑の潤いを感じることができます。内部の建具なども木材や和紙を使用した細心のデザインが施され、特に2階和室の床飾りまわりは建て替え前の書院障子や床材を再利用されており、くらしの記憶の継承にも配慮されています。

優秀賞には、「ひゃくどみクリニック」「古民家オフィスみらいと奥出雲」「赤江の家」の3件を選定しました。「ひゃくどみクリニック」は出雲市駅近くに新築された乳腺外科クリニックで、女性利用者の居心地に配慮された木材と白い壁による柔らかい表情が印象的な建築物です。「古民家オフィスみらいと奥出雲」は奥出雲町三沢の築90年の2階建の古民家を改修し、レンタルオフィスや地域交流スペースとしての再生に成功した建築物です。「赤江の家」は安来市内の田園を望む好立地にある2階建の木造住宅で、若い子育て中の家族に配慮された回遊性のある平面構成を持ち、床下エアコンや木材利用による温かな雰囲気を持つ建築物です。これら優秀賞の3件は、地域再生、利用者や家族への配慮といった点について優れた創意工夫が見られ高く評価されます。

奨励賞には9件を選定しました。建築物部門からは「平田の家」「隅木の家」「大屋根の家」「帯刀さんの家」「四姉妹の家」「サクラマス交流センター」を選定し、いずれも地域材や伝統的構法の活用、山陰地方の気候風土への配慮など、創意工夫にあふれた建築物でした。活動部門からは「NPO法人 ひらた空き家再生舎」「矢上駅」「住民と学生の参加による、隠岐の島町“NOGINOVIハウス”改修事業の取り組み」を選定し、それぞれ空き家再生や地域の利便性維持を目指し、地域住民や生徒学生の創意工夫を取り入れた活動でした。こうした建築物や活動が今後の県民のくらしを支えるモデルとなることを期待しています。

平成30年度

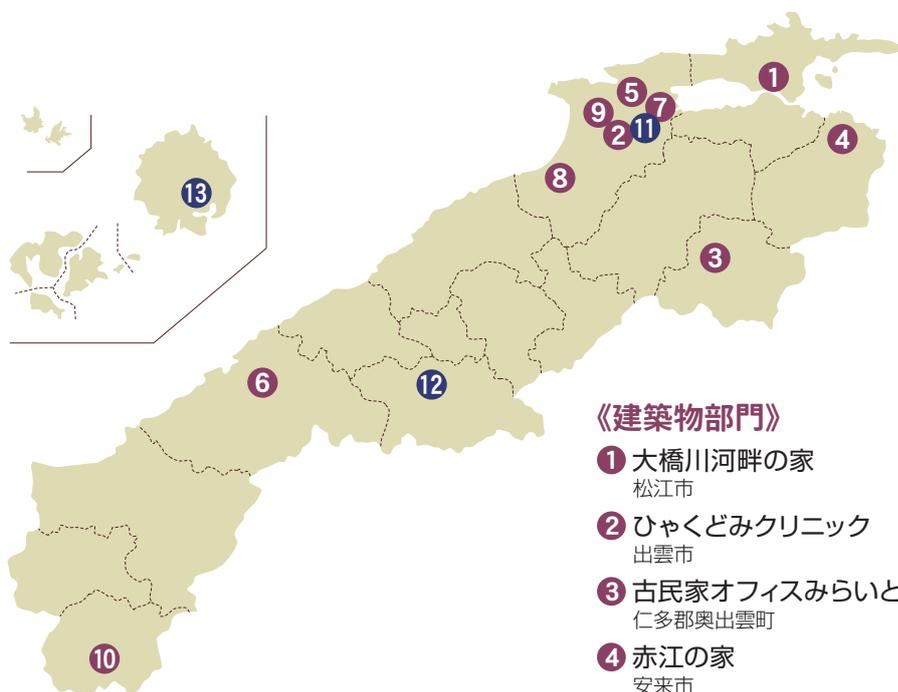
しまね建築・住宅 コンクール

Architecture & Houses Competition in Shimane

テーマ

生活環境の変化に順応する、わが街・わが家の工夫
—くらしを取り巻く課題への対応—

受賞
物件



《建築物部門》

- 1 大橋川河畔の家
松江市
- 2 ひゃくどみクリニック
出雲市
- 3 古民家オフィスみらいと奥出雲
仁多郡奥出雲町
- 4 赤江の家
安来市
- 5 茅葺き屋根のある家
出雲市
- 6 隅木の家
浜田市
- 7 大屋根の家
出雲市
- 8 帯刀さんの家
出雲市
- 9 四姉妹の家
出雲市
- 10 サクラマス交流センター
鹿足郡吉賀町

《活動部門》

- 11 NPO法人 ひらた空き家再生舎
出雲市
- 12 矢上駅
邑智郡邑南町
- 13 住民と学生の参加による
“隠岐の島町NOGINOVIハウス”
改修事業の取り組み
隠岐郡隠岐の島町



表彰銘板（石州敷瓦）



最優秀賞

大橋川河畔の家

親族がシェアする第二の住宅



この2階建木造住宅は松江市内の大橋川を望む場所にあり、昭和初期の建物を建て替える形で建築されています。建築主の方は建て替え前の建物で生まれ育ち、現在は関西地方に居住されていますが、この住宅を親族と共有し、週末や休暇の際に利用されています。山陰地方だけでなく全国の地方中心市街地において空き家が増加する中で、こうした複数の親族がシェアする別荘的な建物・豊かな暮らしに向けた第二の拠点として故郷の実家を再生・維持する新たなモデルになることが期待されます。

外観は城下町松江の歴史的景観に配慮され、漆喰、厚みのある焼き杉板、瓦屋根などの伝統的な自然素材が使用されています。建物側面からみると、焼き杉板でできた細長い箱の上に、漆喰と瓦屋根からなる2つの切妻屋根がリズミカルに載っているように見えます。町家の細長い敷地に対して、玄関前、ポーチ奥、キッチン横の3カ所に中庭や坪庭を設けることで、室内に十分な採光と樹木の彩りを取り入れるだけでな



く、前面道路を行き交う人々もこれらから緑の潤いを感じることができます。

内部の建具なども木材や和紙を使用した細心のデザインがされ、特に2階和室の床飾りまわりは建て替え前の書院障子や床材を再利用されており、家族がすごしたくらしの記憶の継承にも配慮されています。2階寝室の窓は木製防火戸、ガラス窓、格子戸、障子の4重で構成されており、細やかなディテールとなっています。この窓からは、大橋川の流れと柳並木をみることができます。

1階のLDKの椅子に座ると、そこから中庭・木製建具・ポーチ越しに大橋川の流れを望むことができ、故郷に戻ってゆったりとした時間を過ごしたい、過ごせるから何度でも松江に帰ってきたいと思わせる空間を実現できていると感じました。
(細田智久)

所在地：松江市
 建築主：個人
 設計者：江角アトリエ
 施工者：有限会社 森山建築工業

【建物概要】
 用途：住宅
 構造：木造
 工事種別：新築



優秀賞

ひやくどみクリニック

穏やかな外観と居心地のよい空間

そのクリニックは出雲の町中。周囲に店舗や住宅が混在した静かな場所に位置します。そのクリニックは乳腺外科と消化器外科専門の診療所です。

建物を望むと様々な樹木に囲まれた穏やかな方形屋根が目に入ります。柔らかなアーチをくぐる玄関ポーチ。そこへとまっすぐに続く白いアプローチが穏やかに優しく訪れる人を導きます。

その印象は建物の中に入っても変わりません。清潔感のある柔らかな白壁と視線を導く八角柱と柱に向かう登り梁。それを支える方杖はまるで木の下に居ようです。

検査室、診察室は待合室を中心に大きな木の下で穏やかな光の射す回廊のような廊下など、建物の外周を巡るような動線で、クリニックという緊張を感じる場でありながら、それを和らげる工夫がなされ、そこが診療所であるということを極力感じさせないデザインとなっています。小さな室名サインまで細やかにデザインされており、設計者の心からの配慮が伝わります。

建物の中心を貫くスタッフの動線は機能的、衛生的でコンパクトに動きながら作業が行えるよう、配慮されています。

それは家族も一緒に訪れたいような不思議な穏やかさを醸し出す魅力を持ったクリニックです。

建物を囲む樹木が伸びればより屋根の穏やかな存在感が際立ち、ますます何かに守られているような居心地のよい空間になるのでしょうか。

(坪倉菜水)



所在地：出雲市

建築主：個人

設計者：宇佐美建築設計室

施工者：ヒロシ株式会社

【建物概要】

用途：医院

構造：木造

工事種別：新築



優秀賞

古民家オフィスみらいと奥出雲

地域と企業が活性化するレンタルオフィス

この建築物は、奥出雲町三沢の築90年の2階建の大規模な古民家を改修し、レンタルオフィスや地域交流スペースとして再生することに成功した建築物です。旧街道沿いに面した土間部分は地域交流スペース、表座敷の3室はレンタルオフィス、裏座敷の3室はコワーキング（共同利用の会議）スペースとして利用されています。土間の奥側にはキッチンとトイレの水廻りが設けられ、古民家を現代的に利用するための設えもされています。元の柱や梁、欄間飾り、床材などの良いものは残し、新たな床材などは限られた予算の中でも創意工夫のある仕上がりとなっています。特に裏座敷の障子紙を透明な素材に変え、広縁越しに庭への視線の広がりを生み出すことで、古民家の裏手側が持つ薄暗いイメージを一新させています。

若い起業者がレンタルオフィスに入居したい、一緒に入居している企業や地域の方々と協働で何かを始めることができるのではないかと、と思わせる空間が実現できていると感じました。（細田智久）



所在地：仁多郡奥出雲町

建築主：奥出雲町長 勝田康則

設計者：宇田川孝浩建築設計事務所

施工者：有限会社 糸賀工務店

【建物概要】

用途：事務所

構造：木造

工事種別：リフォーム／有限会社 糸賀工務店



優秀賞

赤江の家

田園と調和し内と外がつながる住まい

建物は国道9号線にほど近く、何軒かの店舗や住宅が立ち並ぶ場所に在ります。杉板張りの外壁は若々しく穏やかなプロポーションで集落や周囲の田園風景に溶け込み、新しい若い住まい手をこの場所が歓迎しているようです。

美しい構造材を現しにしたリビングやダイニング空間は部屋同士が雁行して穏やかに連続し、日常の動作に様々な楽しい視点の変化を与えています。その工夫はあちこちに見られ、思わぬところにふと現れるカラフルな壁。小さな箱の中を前進していくような階段。小さなキャットウォークなど、部屋は楽しみで溢れています。

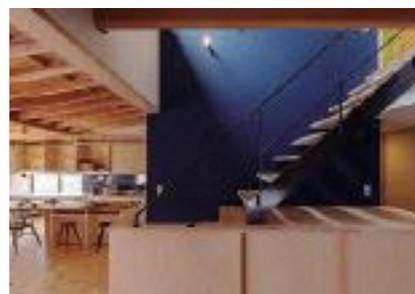
動線は浴室、洗面脱衣室、家族のクローゼット等が効率よく配置され、回遊動線を取った利便性に配慮した構成となっています。

空調は薪ストーブと床下エアコンを併用し、ご家族の年齢や家族構成に配慮したエネルギー計画が為されています。

外との繋がり。雁行する室内空間に合わせて大きなウッドデッキや田園の景色を切り取る絵画のような窓が室内空間と外部との様々なつながりを作り出しています。

ダイニングの窓からは、田園風景の中遠くを横切る山陰本線の電車を見ることが出来るという素敵なサプライズも。

動かし楽しみを創る部分、抑えて安寧と安心を作り出す部分が同じ空間の中で調和した、居心地の良い、心が躍る空間です。(坪倉菜水)



所在地：安来市

建築主：個人

設計者：一級建築士事務所 安藤建築設計室

施工者：八光建設株式会社

【建物概要】

用途：住宅

構造：木造

工事種別：新築



奨励賞

茅葺き屋根のある家

古さと新しさが共存している木々に囲まれた住宅

十六島湾に近く、北西の潮風を防ぐ山影に佇む茅葺き屋根が印象的な二世帯住宅です。

親世帯が暮らす母屋のリフォームと都会からUターンされた子世帯住居の増築が今回の計画です。

築120年の母屋は、新建材で改修されていた内装や天井を取り払い、当初の田の字型の間取りに改修。自然素材の内装と茅葺き屋根や構造材が現しになることで、趣のある癒しの空間になっています。

一方、新たに増築された子世帯の住まいは、母屋に添うように建てられています。外観を石州赤瓦の屋根、漆喰、焼杉材で構成し、2階を勾配天井にし、高さを低くすることで建物全体のボリュームが抑えられ、母屋と一体感が生まれています。

1階リビングの吹抜けには2階のリビングも面しており、縦空間として繋がっています。吹抜けにはトップライトとハイサイドライトが配置され、この吹抜けを共有することで各階のリビングに開放感をもたらし、またテラスが緩やかに外部と繋がることで、広がりのある空間となっています。

2階に設けられた畳リビングや回遊性のある間取りや設えは、母屋の古民家テイストが盛り込まれ、新しいものと古いものが内も外もバランスよく共存している住まいです。
(福原昌代)



所在地：出雲市
建築主：個人
設計者：北脇材木店
施工者：北脇材木店

【建物概要】

用途：住宅
構造：木造
工事種別：新築



奨励賞

隅木の家

広い濡れ縁がもたらす開放的な住まい

浜田市郊外に位置し、昔ながらのご近所付き合いの残る地域で、ご主人の実家跡地に建てられた住宅です。敷地周辺は民家に囲まれているが、南と東に庭を配することで隣接する民家や前面道路からの視線を遮るように工夫されています。リビングに面して濡れ縁と深い軒を設け、内部と外部の空間が相互に緩やかに繋がっています。

特徴的な隅木の屋根の下には、吹抜けのリビングを囲むように個室が配置されています。

リビングに面したオープンなロフトは、傾斜のついた腰壁が板張りで居心地がよく、2階の個室は障子の小窓でリビングに繋がり、リビングを勾配天井とすることでより一層の開放感をもたらしています。

木製建具や障子、大理石のキッチンカウンターなどの自然素材が生み出す柔らかな印象の室内と調和のとれた屋外空間を併せ持つこの住宅の素晴らしさは、「和と洋が合わさった空間がとても気に入っている。快適で大満足！」とおっしゃったアメリカ出身の奥さまの言葉に象徴されるようです。

空間の大きさや諸室の構成がリビングを中心にうまくまとめてあり、道路や隣家からの視線、アプローチまでも、そこに住まう人、集う人を対象に日々のライフスタイルが一つのストーリーとして包括されているようで、設計者の繊細な気配りが感じられました。

(福原昌代)



所在地：浜田市

建築主：個人

設計者：江角アトリエ

施工者：増本建設 有限会社

【建物概要】

用途：住宅

構造：木造

工事種別：新築



奨励賞

大屋根の家

屋根が創る家族の絆

徒然草の一節「家の作りやうは夏を旨とすべし。冬はいかなるところにも住まる。暑き比わろき住居は耐えがたき事なり。」は、多くの建築関係者がよく知ることかと思えます。この内容が現代においてそのまま通用するかどうかは別として、大屋根の家は、地域の気候風土への対応を第一にして考えられた住宅です。

地面にまで伸びるこの大屋根は、夏の直射日光や冬の季節風を遮るとともに、天候に大きく左右されることなく利用できる内部空間を延長した実用的なウッドテラスとなっています。建物本体の二の次に位置づけられることの多い外構計画ですが、建物と一体となった外構も必要な生活空間であるとの明確な考えがうかがえます。建物の妻側壁面は見事な焼の深さを見せる手焼きの焼杉板で覆われており、数十年の風雨にも耐えることであろうと感じさせます。

市街地郊外の田園地帯に位置し、周辺の住宅とは大きく違う意匠ではあるものの、背後の山並みの緑にも溶け込み、地域景観上も全く違和感なく受け入れられている住宅です。
(山本雅夫)



所在地：出雲市

建築主：個人

設計者：原浩二建築設計事務所

施工者：株式会社 寿建設工業

【建物概要】

用途：住宅

構造：木造

工事種別：新築

奨励賞

自然を生かし自然を楽しむ
帯刀さんの家



のどかな段々畑の下方に建っています。南に面して小高くなっていて、見通しが良く、さらに日当たりもよく自然の中にすっぽりと包まれています。

平屋の良さを十分に生かして、通風など省エネに配慮がしっかりされています。また、周りの自然と何もない南の庭が内部と軒の深い庇で風景と一体感を造り出しています。

建築主さんからは北からの潮風が強いと聞きましたが、外壁なども工夫され、冬季でも快適に暮らせる住宅となっています。（矢野敏明）



所在地：出雲市
 建築主：個人
 設計者：美建設計事務所、
 ナガセミキ建築設計事務所
 施工者：有限会社 竹下美建

【建物概要】

用途：住宅
 構造：木造
 工事種別：新築



奨励賞

四姉妹の家

家族と共に成長する家

新しく造成された住宅地に建築されています。

低予算と聞きましたが、それを感じさせない焼杉を使用した外壁、そしてシンプルなファサードが印象的です。また、きめ細やかな細工がいたるところにあり、生活する上で何が便利なのかがよく考えられています。

キッチン、座卓、収納なども予算を抑えつつ、丈夫である既製品を上手く利用しながら製作しており、4人の子供が成長していく過程でも使いこなせるように、将来も見据えた住宅となっています。何よりも力強い気持ちになる住宅です。

(矢野敏明)



所在地：出雲市

建築主：個人

設計者：原浩二建築設計事務所

施工者：株式会社トガノ建設

【建物概要】

用途：住宅

構造：木造

工事種別：新築

奨励賞

高校生と地域がふれあう施設

サクラマス交流センター



石見地方では、持続可能な自治体運営と高校存続とを結び付け、各町では独自の様々な取り組みがなされているようです。

清流日本一の高津川の源流となる吉賀町にある県立吉賀高校は、昭和44年には1学年3学級135人定員だったものが、平成16年には1学年1学級40名定員となり、中高一貫教育を取り入れながらも定員を充足できない状況が続いていたようです。

この町ではこの問題を解決するため、県外等からの入学者増をもって高校存続と地域活性化を目指し、生徒の生活施設と地域住民との交流施設として整備されたのが町営のサクラマス交流センターです。

施設完成2年目で入学定員を充足するようになり、規模拡大の必要性もあるくらいニーズも高まっているようです。

外観は学生寮のような固い雰囲気はなく、石見地方や周辺の景観にも配慮し、誰もが近づきたくくなるような地域のコミュニティ施設のように感じます。施設内は食堂を兼ねた交流室を取り囲んでバス・トイレ付で機能的な居室が個室で配置されています。

美しい自然と心温かい地域住民にも囲まれた機能的な生活施設を活用し、内容の濃い少人数教育を受けられることを実現することになったこの施設は、高校存続や統廃合に危機に直面している石見地方の自治体の対応施策として模範的な事例になるのではないかと感じます。 (山本雅夫)



所在地：鹿足郡吉賀町

建築主：吉賀町長 岩本一巳

設計者：有限会社 万設計

施工者：株式会社 松原工務店・宗正建設・
斉藤建設特別共同企業体

【建物概要】

用途：公共施設

構造：木造

工事種別：新築



奨励賞

NPO法人ひらた空き家再生舎

空き家から地域ににぎわいを

近年、空き家は全国的に年々増加しており、倒壊の危険性、景観の悪化、犯罪率の増加など、所有者のみならず地域全体の問題になっています。そのような空き家をまちづくりに活用していこうという取組です。

民家の所有者の悩みを解決するために相談ののったり、改修のアドバイス等を行ったり、管理を有償で提供する等の活動を行っています。また、新規にこの地へ移住を希望する人と売却や賃貸を希望する空き家所有者をマッチングする計画です。さらに空き家を利活用し、移住者同士や地域住民等のコミュニティなどの「場」をつくる活動も行っています。

平田に住みたい、古民家に住みたい、田舎に住みたいという人達を広く募集し、コミュニティを広げ地域を活性化する取組は、まだはじめられたばかりですが、将来実を結べば、とても素晴らしい取り組みになると思います。これからの期待します。

(矢野敏明)



主な活動場所：出雲市

活動実施者：NPO法人 ひらた空き家再生舎



奨励賞

矢上駅

いつまでも残る記憶とバス停をつくる

この活動は、邑南町の旧矢上駅の老朽化に伴う平屋の小規模バス停への建て替えにあたり、最寄りの矢上高校生によって待合室内の掲示板を作成したワークショップ活動です。掲示板は、町産材の柱材を年輪が分かる方向にスライスした300枚の木パネルを材料として使い、生徒や地域住民がパネル側面に未来へのメッセージなどを書き込み、壁面に貼り付けて作成したものです。また、待合室内外のベンチは同じく邑南町にある石見養護学校で製作されたものが設置されています。

待合室の木パネルでできた掲示板には様々なポスターが掲示され、これからも長く使用されていくことが期待されます。また、この製作に関わった矢上高校生は将来いつでもこの場所がかつての記憶を呼び覚ますことができることでしょう。彼ら彼女らにとっては一つのタイムカプセルにもなっていると感じました。

(細田智久)



主な活動場所：邑智郡邑南町
活動実施者：邑南町長 石橋良治



奨励賞

住民と学生の参加による、“隠岐の島町 NOGINOVIハウス”改修事業の取り組み 地域住民と共に建築学生が考える空き家改修計画

これからの住宅施策は、著しい少子高齢化と人口減少を踏まえ、住宅の質的向上だけでなく教育や福祉分野なども包含したまちづくりの視点での施策展開が求められています。

隠岐の島ではこのような視点にたち、深刻化する空き家問題を解決するために空き家総合対策推進プロジェクトを住宅マスタープランに位置づけ、平成27年から具体的な施策展開を進めています。

“NOGINOVIハウス”改修事業は、「地域活性化」「古民家活用」「空き家対策」「木造耐震補強」等のキーワードを一体化して捉え、明治37年建築の空き家を利用して地域交流情報発信機能を備えた短期滞在型宿泊施設として再生させるためのモデル事業として実施されています。

米子高専建築学科を中心に建物所有者や地域住民と共にワークショップの開催や改修計画の取りまとめ、そして地域産材や地域建築技術を活用や地域の住文化も反映するよう様々な検討を加えた実施設計へと作業が進められ、工事完成後は地域の交流拠点として利用や古民家耐震補強モデルとして建築関係者等への耐震化技術の啓発にも活用されています。

今後、隠岐の島町において同様の事業が展開されると共に県内地において、このようなモデル事業の取り組みによる古民家等の良好なストック活用による地域活性化と木造建築物の耐震化促進がなされることが期待されます。（山本雅夫）



主な活動場所：隠岐の島町

活動実施者：隠岐の島町長 池田高世偉

募集要項

テーマ
応募条件

生活環境の変化に順応する、 わが街・わが家の工夫

—くらしを取り巻く課題への対応—

○島根県内で、平成30年9月28日までに実施されたものに限りです。

○自薦・他薦を問わず、個人・団体・企業・自治体、どなたでも応募可能です。

なお、部門は「建築物部門」、「活動部門」の2種類あります。

建築物部門

概ね5年以内に建築（新築、増築、改築または移転）し、修繕し、または模様替えした建築物（建築物の一部またはその敷地を含む）であって、募集テーマに即して、以下のいずれかに該当するもの

- 建築主、利用者などへの配慮がなされているもの
- 創意、工夫が見られるもの
- 地域特性を活かしたもの（地域材、気候、風土等）
- 既存建築物を活用したもの
- 今後のモデルとして、波及効果が期待できるもの
- 環境にやさしいもの

例えば

- 災害に備えた工夫ある家
- 地域の活性化を目的としたコミュニティ施設を整備した事例
- オリジナルにこだわった建築主参加型の家づくり
- 地域に増加する空き家を再生した事例
- 子育てが楽しくなる家
- ゼロエネルギーを目指した住宅

など

活動部門

募集テーマに即した住生活に関連する取り組み、活動であって、以下のいずれかに該当するもの

- 創意、工夫が見られるもの
- 地域特性を活かしたもの（地域材、気候、風土等）
- 他者への意識啓発に寄与しているもの
- 積極的、継続的に取り組まれているもの
- 今後のモデルとして、波及効果が期待できる事例
- 住民や地域に貢献していること

例えば

- 突然おそってくる地震に備えた地域・家庭での取り組み
- 高齢者世帯、子育て世帯に対する地域での居住支援活動
- 使われなくなった学校、店舗等を活用して行われているまちの活性化活動

など

審査経過・審査委員

審査経過

募集結果

募集期間 平成30年7月13日～9月28日
応募総数 79件【建築物部門】72件（新築46件、リフォーム26件）
【活動部門】7件

審査経過

第1次審査 応募書類、写真をもとに第2次審査の対象となる27件を選出
審査期間 平成30年9月28日～10月25日
選出件数 27件【建築物部門】20件（新築16件、リフォーム4件）
【活動部門】7件

第2次審査 選出された27件について第2次審査を実施し、表彰候補13件を選定
現地審査 平成30年11月15日～11月30日
最終審査会 平成30年12月26日
選出件数 13件【建築物部門】10件（新築9件、リフォーム1件）
【活動部門】3件

表彰式

開催日 平成31年2月27日
授与式 受賞物件の建築主又は活動実施主体、設計者及び施工者に対して賞状を、
建築主及び活動実施主体には、副賞として表彰銘板（石州敷瓦）を贈呈。

審査委員

《審査委員長》 細田 智久 (国立大学法人 島根大学 総合理工学部 建築デザイン学科 教授)
《審査委員》 坪倉 菜水 ((一社)島根県建築士会 女性委員会委員長)
福原 昌代 ((一社)島根県建築士会 会員)
矢野 敏明 ((一社)島根県建築士事務所協会 会長)
山本 雅夫 (江津市都市計画課長)

第2次審査対象物件一覧

●建築物部門

受賞	名称	所在地
	山陰開発コンサルタント株式会社新社屋	松江市
最優秀賞	大橋川湖畔の家	松江市
	Le Grand Accueillir	松江市
	樹の家	松江市
奨励賞	茅葺き屋根のある家	出雲市
	T邸改修工事	出雲市
優秀賞	ひゃくどみクリニック	出雲市
	シマトネリコの家	出雲市
	大津の町屋	出雲市
奨励賞	大屋根の家	出雲市
奨励賞	帯刀さんの家	出雲市
奨励賞	四姉妹の家	出雲市

●活動部門

受賞	名称	所在地
	松江市八束公民館運営協議会	松江市
奨励賞	NPO法人 ひらた空き家再生舎	出雲市
	パンカフェ「H♡T」はあと	益田市
	躍動鍋山 栗原分室	雲南市
	マイクロスーパー「かもマート」を核とした加茂まちなかの「小さな拠点」の整備	雲南市
奨励賞	矢上駅	邑南町
奨励賞	住民と学生の参加による、隠岐の島町「NOGINOVIハウス」改修事業の取り組み	隠岐の島町

受賞一覧

◆平成19年度

賞	物 件 名	所 在 地
最優秀賞	松江市雑賀八区町内会救助隊	松江市雑賀町
優秀賞	しまねの木の家	松江市国屋町
優秀賞	安国寺本堂改修工事	松江市竹矢町
優秀賞	奥谷町東区防災隊の活動	松江市奥谷町
奨励賞	古民家改修「囲いの家」	
奨励賞	附帯屋根瓦工事耐震化及び耐震改修	
奨励賞	ボートピア松江ビル	松江市寺町
奨励賞	岩田邸	安来市黒井田町
奨励賞	松江しんじ湖温泉駅	松江市中原町
奨励賞	災害避難所におけるプライベートスペース「6家族のためのささやか安心空間」の試作および組立てマニュアルDVD制作事業	

◆平成20年度

〈設計・工事・技術提案部門〉

賞	物 件 名	所 在 地
奨励賞	JR安来駅 観光交流プラザ	安来市
奨励賞	海士中学校工コ改修	隠岐郡海士町

〈防災活動部門〉

賞	物 件 名	所 在 地
奨励賞	「耐震改修モデル設計による地域学習会」への参加を通じた耐震診断技術の習得及び耐震意識の啓発	
奨励賞	わが家の耐震改修工事	

◆平成21年度

〈技術部門〉

賞	物 件 名	所 在 地
優秀賞	菱浦魚集緑地広場整備(菱浦蔵改修工事)	隠岐郡海士町
奨励賞	美保関橋津屋改修工事(古民家)	松江市美保関町
奨励賞	K邸	松江市内
奨励賞	本妙寺改修工事	出雲市平田町

〈活動部門〉

賞	物 件 名	応募者
特別賞	地震防災ポスター	島根大学教育学部附属小学校3年1組

◆平成22年度

〈技術部門〉(リフォーム工事)

賞	物 件 名	所 在 地
優秀賞	時をつなぐ家	出雲市
奨励賞	石見瓦再生の家	鹿足郡
奨励賞	古民家劇的大改造	松江市
奨励賞	A邸増改築工事	松江市

〈技術部門〉(新築工事)

賞	物 件 名	所 在 地
奨励賞	木の香の家(K邸)	浜田市

〈活動部門〉(地域防災活動)

賞	物 件 名	主な活動場所
優秀賞	防災活動(地震防災訓練)	松江市
奨励賞	緊急地震速報を活用した県内初の避難訓練	松江市
奨励賞	岡の目地区防災訓練	松江市

◆平成23年度

〈建築物部門〉

賞	物 件 名	所 在 地
最優秀賞	ワークくわの木江津事業所	江津市江津町
優秀賞	渡橋の家	出雲市渡橋町
優秀賞	母里の家	安来市伯太町
優秀賞	カイダングン ノ イエ	松江市東出雲町
奨励賞	「家族の健康を守る家」K邸	松江市内中原町
奨励賞	パティオのある家	出雲市知井宮町
奨励賞	五箇小学校木造校舎耐震改修	隠岐郡隠岐の島町
奨励賞	石州瓦の家	大田市大田町
奨励賞	「築後139年を住み継ぐ、古民家再生」	益田市中島町

〈活動部門〉

賞	物 件 名	主な活動場所
奨励賞	入間交流センターを舞台に広がる都市交流活動	雲南市掛合町
奨励賞	地元の木材を生かした読書空間づくり活動	隠岐郡海士町
奨励賞	平成23年度法吉地区防災訓練	松江市比津町
奨励賞	街の魅力を再発見するまちあるき企画の運営	松江市市内

◆平成24年度

〈建築物部門〉

賞	物 件 名	所 在 地
最優秀賞	コクバンの家	松江市八幡町
優秀賞	空に向う家	松江市奥谷町
優秀賞	O邸	雲南市木次町
優秀賞	新しい出発「坂の下café morikame」	出雲市大社町
奨励賞	先人の技術を受け継ぐ家	安来市伯太町
奨励賞	漆喰の家	出雲市知井宮町
奨励賞	「一畑電車大社前駅」の新しいかたち	出雲市大社町
奨励賞	そらうみの家	浜田市長浜町
奨励賞	潮騒の住処	益田市津田町

〈活動部門〉

賞	物 件 名	主な活動場所
奨励賞	避難所運営体験の実践	出雲市

◆平成25年度

〈建築物部門〉

賞	物 件 名	所 在 地
最優秀賞	家族が繋がる3世帯住宅	益田市東町
優秀賞	古志原の家	松江市古志原
優秀賞	浜田市立中央図書館	浜田市黒川町
優秀賞	Traditional Style	出雲市東林木町
優秀賞	北堀のいえ 民家再生	松江市北堀町
優秀賞	見晴らしの家	松江市西忌部町
優秀賞	段々畑の家	出雲市東林木町
優秀賞	食事処 小望月	出雲市大社町

〈活動部門〉

賞	物 件 名	主な活動場所
奨励賞	〈訪れる場所作り〉 佐世だんだん工房	雲南市大東町
奨励賞	大久地区災害対策活動	隠岐郡隠岐の島町
奨励賞	奥出雲町わがところ再発見ワークショップ	仁多郡奥出雲町内

◆平成26年度

〈建築物部門〉

賞	物 件 名	所 在 地
優秀賞	かずと会館	安来市広瀬町
優秀賞	土間と大黒柱の有る家	益田市幸町
優秀賞	のび・のび・のび	安来市西赤江町
奨励賞	中庭のあるローコスト住宅	出雲市大島町
奨励賞	求院の家	出雲市斐川町
奨励賞	ギャラリー記田屋	出雲市大社町
奨励賞	ふるさと定住の古民家再生	安来市荒島町
奨励賞	奥谷の家	松江市奥谷町
奨励賞	大田の家	大田市長久町
奨励賞	古民家DIY	松江市八雲町
奨励賞	外中原町の2世帯住宅	松江市外中原町

〈活動部門〉

賞	物 件 名	主な活動場所
奨励賞	まちなか再生拠点 オープンスペース ichi	出雲市今市町
奨励賞	旧堀氏庭園活用協議会	鹿足郡津和野町

◆平成27年度

〈建築物部門〉

賞	物 件 名	所 在 地
最優秀賞	安来切川の家	安来市切川町
優秀賞	土縁の家	仁多郡奥出雲町
優秀賞	抱陽の家	益田市久城町
奨励賞	海士町立海士小学校	隠岐郡海士町
奨励賞	凹みの家	松江市八雲町
奨励賞	どま・まど・どま	松江市東持田町
奨励賞	滑の家 中間領域を持つ二重断熱の家	邑智郡邑南町
奨励賞	姫原の住宅+事務所	出雲市姫原町
奨励賞	横浜町の家	松江市横浜町

〈活動部門〉

賞	物 件 名	主な活動場所
優秀賞	平成郷蔵普請	江津市桜江町
奨励賞	三日市ラボ ～空き家再生プロジェクト～	雲南市木次町

◆平成28年度

〈建築物部門〉

賞	物 件 名	所 在 地
最優秀賞	善徳寺本堂	雲南市三刀屋町
優秀賞	稗原の家	出雲市稗原町
優秀賞	ゆめの森こども園…だいかぞくが集う家	出雲市大社町
奨励賞	抱陽の家2	益田市土井町
奨励賞	外中原の家	松江市外中原町
奨励賞	Re：佐白の家	仁多郡奥出雲町
奨励賞	海士町立福井小学校	隠岐郡海士町
奨励賞	丘の上の家	松江市西忌部町
奨励賞	灰色の家	出雲市大社町

◆平成29年度

〈建築物部門〉

賞	物 件 名	所 在 地
最優秀賞	広瀬基督教会	安来市
優秀賞	八川の家 / 豊カフェ	仁多郡奥出雲町
優秀賞	T様邸個人住宅新築工事	松江市
優秀賞	「城下町」N邸	松江市
奨励賞	日本赤十字社 益田赤十字病院 院内保育所	益田市
奨励賞	三刀屋の改修	雲南市
奨励賞	蔵 懐古空間 一花	雲南市
奨励賞	松江冷機株式会社 新社屋新築工事	松江市
奨励賞	さぎの湯荘 別邸 鷺泉	安来市
奨励賞	家具師の家	出雲市
奨励賞	出雲1邸	出雲市
奨励賞	町屋のキッチン	出雲市

〈活動部門〉

賞	物 件 名	主な活動場所
奨励賞	井原を知る勉強会	邑智郡邑南町

平成30年度

しまね建築・住宅 コンクール

Architecture & Houses Competition in Shimane

[主催] 島根県

[後援]

(一社)島根県建築士会・(一社)島根県建設業協会・(一社)島根県建築組合連合会

(公)島根県宅地建物取引業協会・(一社)島根県建築士事務所協会

(一社)島根県建築住宅センター・(一社)島根県建築技術協会

(一社)島根県住まいづくり協会・(一社)島根県管工事業協会・(一社)島根県電業協会

(島根県建築行政推進協力会)

平成31年2月発行

島根県土木部建築住宅課